

2024 年度 水戸幼稚園事業報告

報告者 園長 松本晴子

1. 幼稚園の運営

- (1) 所在地：水戸市緑町三丁目九番 36 号
- (2) 定員：140 名 利用定員(水戸市に報告定員)：75 名
- (3) 職員数：23 名 (内 3 名育休中～2025 年度復帰) (以下休業者のぞく)
常 勤(10 名)：理事長 1 名、園長 1 名、主任教諭 1 名、教諭 7 名 (内 3 名短時間)
非常勤(10 名)：教諭 2 名、管理栄養士 1 名、調理員 4 名、運転手 2 名
朝のみバス添乗スタッフ 1 名
- (4) 嘱託医：朴秀吉 (内科)、横須賀均 (歯科)
- (5) 理事：理事長＝松本智昌 理事＝松本晴子 (業務執行理事)、小山哲司、小山祐子、
星野光利、藤山修
- (6) 監事：萩野谷興、安昌美
- (7) 評議員：松本智昌、鈴木ゆかり、小池貞、横須賀均、小山祐子、真中恵美
松本晴子、星野光利、金丸隆太、高野秀樹、岡崎沙希

2. 教育理念

神様に愛されている幼子、そして育てている保護者が喜びに満たされる生活を
送れるように、今を大切に生きること。

年間テーマ

『 さあ、漕ぎだそう 奏でよう 』

教育課程

- 一学期： 出会いが保障され、出会いが意識化されることによって、喜んで自分の存在を受け
容れてくれる存在がいることを、知っていく。
- 二学期： 自然の中に感動を得、物事への興味を育み、他者を含め共に生きる存在が
いることを前向きに喜んでいく。
- 三学期： 自分を前向きに捉え、自分と違う存在が居ていいという肯定感を持ちつつ、
仲間と共に何かを創りあげていく喜びを知る。

3. 保育時間

- 通常保育： 8 時 30 分～14 時
- 一時預かり保育： 8 時から 8 時 30 分。保育終了後～18 時 (長期休業 8 時～18 時)

4. 職員と園児数

- (1) 幼稚園教諭採用なし 育休 3 名 年度末にて産休 1 名
- (2) 園児数月ごと変化 53 名－54－57－57－56－58－59－62－62－64－65－65

5. 主な行事 / 金曜日 礼拝 / 月ごとに 誕生会 / 各避難訓練

一学期	二学期	三学期
入園式	新入児二者面談 遠足	学校見学
親子遠足	運動会	積木ワークショップ
植物栽培／クッキング	さつまいも堀遠足	もてなしクッキング
木工	クッキング	
保育参観	消防署訪問	ひなまつり会
プール	観劇会(劇団風の子)	親子給食会食会
日帰りキャンプ	クリスマス会	歩く会
個人面談	親子陶芸(子育て支援事業)	卒園・終了式

6. その他の活動

入園説明会

にじいろチャイルドの会 園児観察・コンサルテーション各3回・保育者講座1回

保護者対象3回 (茨城大学 金丸隆太先生)

おはなしはらっぱ 年長児対象 実施回数9回 (茨城キリスト教大学 原口なおみ先生)

未就園児親子くらぶ (つくしっこくらぶ) 実施回数12回

子育て相談 開催回数8回

園庭開放 (木もれびの庭) 16回

ホームページの更新 月2回

ぎゅっとナビ(園関係者のみ閲覧)にドキュメンテーションアップ

教育実習生受け入れ 1人 / 授業の一環でのボランティア体験 1人

業者によるネット写真販売の他に、新規で業者の行事の動画撮影と販売(希望者向け)

7. 2024年度の主な環境に関わる支出経費

園庭剪定費用・桜の手入れ 木製柵 避難用滑り台他鉄製遊具塗り替え

避難用滑り台下木製デッキを取り壊して、木製風デッキに交換

8. 2024年度の保育評価

満3歳児から5歳児までの混合クラスが3クラス。保育者が育児休業で3名減った状態であったが、園児数が減っていたことにより、職員がよくやりくりして大きな事故や怪我無く、クレーム対応もない状態で歩むことができたと感じている。園バスの運転でのクレームはたまに入る。公共に見られていて難しいと感じている。

園バスを2台運行の3コースに変更したが、大きな混乱はなくすすめられた。手紙類をペーパーレス化し、保護者の反応を年度末アンケートで確認。月の予定は紙媒体が欲しい等個別に対応を考えていく方向で丁寧に対応。

年間の目標に対して

目標１：子どもたちが居心地のよい場所として園生活を愉しめるように、思考して試行していこう。

支援児は多いが、受け入れられている空気感は醸成された。各自の環境調整としては常時は難しく、保育者の手が不足する状況もあった。可能な限りは生活を愉しめる工夫をした。子どもたちのクラス力、仲間になっていく道筋の影響が大きかった。

目標２：保護者が他の誰かや何かと繋がっていけるように工夫しよう。

いつでも参観を２学期に初めて入れてみた。いつでも見に来てよいということ自体を評価してくださる保護者の声あり。オープンな取り組みから保護者が「私」として歩み始める足音を聞く。そんな一年だった。

目標３：仲間同士出来ること、出来ないことを見極め、重層的に仕事をしよう。

職員同士声を掛け合う事が増えたという。伝え方により抱えられなくなることがあったとしても、まだあきらめずそこから対話する誰かが現れたりする。結果立ち上がって、丁寧な働きに繋がり、子どもにいい影響。

食物アレルギーでの対応は、引き続き個別対応を徹底した。小麦アレルギーの方は持参で対応。

園児募集は個別支援を求める保護者や小集団で手厚さを求める方のお子さんが多い。保護者の年齢層は比較的高い印象がある。

満３歳児は１名。３歳児は４名。４歳児３名。５歳児１名の申し込みがあった。2025年度在籍数は減少となる。

未就園親子登園は最初の申込者が途中で抜けていき、来園しなくなる姿があった。他園との差別化という視点で、何か課題があるのかもしれないが、分析中。